

情報コーナー

あすたむらんど徳島子ども科学館

● Happy Xmas in あすたむらんど - 2012 絆 -
 12月14日(金)～25日(火)は21時まで開園!
 クリスマスといえばあすたむらんどのイルミネーション! あすたむらんどから、たくさんの笑顔の輪が広がりますように・・・

●子ども科学館

○真冬の生きてる昆虫展
 外国産の昆虫たちが大集合!
 開催日 / 開催中～12月24日(月)
 時間 / 9:30～16:30
 参加費 / 常設展示の観覧券が必要

○巡回展 「放射線とエネルギーの科学」
 放射線でなに? そんな疑問をパネルでわかりやすくご紹介します。
 開催日 / 開催中～12月24日(月)
 時間 / 9:30～16:30
 参加費 / 無料

○干支の動物大集合!!
 12支の動物すべての子ども科学館に大集合!
 かわいい動物たちとふれあおう!!
 開催日 / 1月1日(火・祝)～6日(日)
 時間 / 9:30～16:30
 参加費 / 常設展示の観覧券が必要
 展示 第10343号 株式会社 白鳥どうぶつ園
 香川県東かがわ市松原2111番地
 動物取扱責任者 松村一史
 登録年月日 平成24年10月24日 / 有効期限
 末尾 平成29年10月23日

○真冬の企画展「のりものでノリノリ♪」
 ウマヤトラック、イモムシなど、いろいろな面白いのりものおもちゃで遊ぼう!
 開催日 / 1月19日(土)～2月24日(日)
 時間 / 9:30～16:30
 参加費 / 常設展示の観覧券が必要

●プラネタリウム

お正月から新番組2本がスタート!
 ○一般番組「オーロラを見た恐竜たち」
 恐竜たちが暮らす今から7000万年前のアラスカをご紹介します。

○キッズ・アワー
 「ナットのスペースアドベンチャー」
 ナットと親友のIQとスクーターはロケットにもぐり込んで、月を目指します。3人の大冒険が今、始まる。

各イベントの詳細については、催し案内かHPでご確認していただくか、お電話でお問い合わせください。

〒779-0111 板野郡板野町那東字キビガ谷45-22
 Tel. 088-672-7111
 HP: <http://www.asutamuland.jp/m/>



<編集後記>

博物館協議会では、「より活動を活発にし、お互いの交流を深める」という観点から、総会や研修会の会場を県内の色々な館にお願いしています。6月には、大塚国大美術館で総会を実施しました。12月には、阿波海南文化村の海南文化館と海陽町立博物館で研修会を実施いたします。それぞれの館の取り組みを伺いながら、情報を共有して、共に発展していけたらと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

徳島県博物館協議会ニュースNo.41

平成24年12月1日発行
 編集・発行者
 〒770-8070
 徳島市八万町向寺山
 徳島県立博物館内
 徳島県博物館協議会事務局
 TEL. 088-668-3636
 FAX. 088-668-7197

徳島県博物館協議会

December.2012
 NO. 41
 ニュース

徳島県博物館協議会は、徳島県内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興をはかるため、平成8年2月27日に設立されました。現在は51館で組織しています。

WEB上では「徳島県博物館マップ」からご覧になれます。

展示品紹介

地元画家為実恵美子さんの作品

三好市井川ふるさと交流センター
 民俗資料館

井川町ふるさと交流センターの2階に図書室があり、そこに歩廊がある。これまで井川町の写真同好会の人々に協力を得て写真を展示していた。

今回初めて、町内の画家為実恵美子さん(76)の絵画を飾っている。為実さんは井川町役場に勤めるかたわら、地元の画家に教えをうけ励んでいたが、35歳の時に管理職となったためその道から遠ざかっていた。平成8年、60歳で退職し再びその道に復帰する。展示作品4枚ともF50号(縦89cm・横117cm)を使用している。

1 「近江の風景」

滋賀県へ秋に友達と旅行し際、この風景が目にと焼きつき描く。県展入選作 あわぎんホールで展示。



2 「静物」: テーブルの上の色合いと、前後左右のウィスキーボトルの対称をうまく表現している。県展入選作 国文祭出展作品 アスティ徳島で展示。



3 「卓上の静物」: 器に入ったリンゴのバックは窓際の明るさを取り入れたビンの状態をうまく描き出している。県展入選作。



4 「佐古川」(徳島市): 佐古は建物と橋が多くあり絵になる所である。表通りにはコンクリートの建物があり、裏側は古い建物があって、そこに狭い川が流れて構図が調和している。放美展入選作。



文責 大岩 義雄(同館職員)
 〒779-4802 三好市井川町岡野前64
 ☎0883-78-4311

情報コーナー

社団法人三木文庫

「三木文庫のご案内」

当文庫は、三木家第13世三木與吉郎真治が昭和29年(1954)4月、三木産業株式会社創業280周年の記念事業の一つとして創設したものです。

昭和44年(1969)4月に本館建物を新築し、また、昭和55年(1980)5月、社団法人に改組しました。

この文庫が他と比べて趣が異なっている点は、その大部分が三木家の先祖以来、歴代事業の史料集積から成り立っていることとあります。三木家は延宝2年(1674)に阿波藍の取り扱いを始め、寛政元年(1789)江戸に進出、それ以来、明治末期(1911)に至るまで、江戸売りの藍師として活躍した関係で阿波藍の諸資料がたくさん残されていました。また、庄屋・大庄屋などを勤めた関係で庶民史料のほか、江戸売場先から国元へ送った瓦版や書簡類など興味深い資料を多数所蔵しています。それらのうち特に重要と思われる品々は当文庫において展示しております。

収蔵資料の内訳は、阿波藍に関する史料(古文書、生産用具、藍染布類、天然色料、染布標本類)、庶民資料(古文書、大福帳、三木家事業の記録)、古い織物(太布、織物用機器)、国の重要有形民俗文化財に指定されている阿波和三盆糖製造用具一式、県指定有形民俗文化財の阿波人形浄瑠璃かしら・衣裳・同付属品、さらに錦絵や瓦版など3万数千点にのぼります。

開館時間は10時～16時。ただし、土・日曜日、祝日、年末年始(12月27日～1月7日)は休館しています。

ご来館の場合は、あらかじめ電話(088-678-4728)でお申込みください。



〒771-0212 板野郡松茂町中喜来字中須 20-2 ☎088-699-2414

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

「郷土芸能、阿波人形浄瑠璃芝居」

阿波十郎兵衛屋敷では徳島の郷土芸能である人間浄瑠璃芝居を毎日11:00～、14:00～と上演しており、県内外や外国の方々にご覧いただいております。

この外に、下記のイベントを予定しております。

- ※ 子ども阿波人形浄瑠璃まつり
12月2日(日)13:00～
川内南小学校6年
大夫教室 寿式三番叟(素浄瑠璃)
巡礼数え歌
川内、藍住子ども人形浄瑠璃クラブ
傾城阿波の鳴門 順礼歌の段

- 12月9日(日)13:00～
徳島文理大学人形浄瑠璃部
傾城阿波の鳴門 順礼歌の段

- 12月15日(土)13:00～
城北高等学校 民芸部
傾城阿波の鳴門 順礼歌の段

- ※ 十郎兵衛まつり弥生公演
平成25年3月16日(土)・17日(日)

ご来館をお待ち致しております。

〒771-0114 徳島市川内町宮島本浦 184 ☎088-665-2202

藍住町歴史館「藍の館」

「藍について学ぼう」

藍の館のすぐ南側には吉野川が流れています。全建造物は13棟で、徳島県の有形文化財に指定され母屋が建てられたのは文化5年(1808)です。

藍の生産や流通、取引など、文化・経済など当時の様子が興味深く見学でき藍のすべてがわかる藍の専門の資料館です。また、藍染め体験コーナーもあり大変にぎわっています。町の誇りであり、宝である藍の館は文化財として、学習の場、観光として広く利用されております。その他、徳島伝統の藍染めの「親子体験教室」とか「藍の訪問授業」も行っております。

〒771-1212 板野郡藍住町徳命字前須西 172 ☎088-692-6317

情報コーナー

阿波木偶人形会館

「伝統を守り、将来へ受け継ぐ」

阿波の人形浄瑠璃は、今に残された私達の貴重な文化の一つです。

当会館もオープン以来28年になりました。

人形健(人形制作者)初代、二代目弟子が手掛けた木偶人形を数多く常設展示し、随時新作の入れ替えもこなっています。

人形浄瑠璃芝居の名場面セットや、明治期の古代衣装の再生、木偶の歴史関係など、制作過程の説明のほか、ビデオ(テレビ)での「傾城阿波の鳴門」義太夫語りは現代言葉で一般の方にも解りやすくなっております。是非一度ご来館をお待ちいたしてあります。

〒771-0114 徳島市川内町宮島本浦 226-1 ☎088-665-5600

あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)～阿波木偶資料館～

「阿波木偶資料館 リニューアルオープン」

あわぎんホール5階にある阿波木偶資料館が、平成24年10月18日にリニューアルオープンをしました。

新しくなった資料館の展示は、ストーリー性を持たせて資料を配置する新しい展示となっております。

そのストーリー性のもととなるモチーフは、徳島県が全国に誇る「阿波農村舞台」。さらに、「普段では入ることの難しい楽屋裏から農村舞台へ来場していただく」というコンセプトのもと、展示コーナーが創設されております。それぞれの展示スペースにて、様々な演出を施された阿波木偶達(でこたち)が、みなさまのご来館をお待ちしております。



〒770-0835 徳島市藍場町 2-14 ☎088-622-8121

モラエス館

「徳島再発見」

モラエス館ではポルトガルの神戸総領事であり文筆家であったヴァンセスラウ・デ・ソーザ・モラエスの遺品、資料などを展示しております。

ポルトガル人モラエスの目を通した日本及び徳島がいかなるものであったのかを知り徳島再発見のきっかけになればと思います。

とくしま観光ガイドボランティア会のスタッフがはりきってご案内しますのでご遠慮なくお声をお掛け下さい。眉山ロープウェイでお越しの方は無料で入館出来ます。眉山にお越しの際にはどうぞお気軽にお立ち寄りくださいませ。お待ちしております。

文責 丸岡 淳也
〒779-0908 徳島市眉山町茂助ヶ原 ☎088-623-5342

鳴門橋架橋記念館

「大鳴門橋架橋記念館エディからのお知らせ」

- 「大鳴門橋架橋記念館エディ」と「渦の道」は年末年始も開館致します。

- 「大鳴門橋架橋記念館エディ・渦の道」迎春イベント開催

「渦の道」1月1日 初日の出(6:30開館) 獅子舞演舞

「大鳴門橋架橋記念館エディ」
1月1日～3日 おみくじスクラッチ(渦の道とエディの共通券購入者)

1月2日 鳴門金時のぜんざいふるまい
1月1日・3日 足長さんのバルーンアート

- 冬休み期間限定キャンペーン
渦の道と大鳴門橋架橋記念館エディの共通券購入者にオリジナルクリアファイルをプレゼント

※ 詳しくはホームページをご覧ください。

〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池 ☎088-687-1330

情報コーナー

徳島県立近代美術館

「展示会の新しいタイプを発見」

「つくること」を切り口に美術鑑賞を深めてみたい、そんな発想から生まれた特別展が開催されます。「きんぴアート発見学—つくる&みることの交流展」と題したこの展示会は、当館所蔵の美術作品にちなんだワークショップを事前に行い、その美術作品と参加者がつくった作品を合わせて展示するものです。内容は次の3つのプログラムで構成されます。

●大久保英治と季節を見つける —歩く—

自然を素材とするランドアートの作家、大久保英治さんを講師に迎え、夏、秋、冬を通して参加者が吉野川の河口で見つけた様々なものを作品にするワークショップ。当館が所蔵する大久保さんの作品と合わせて展示します。

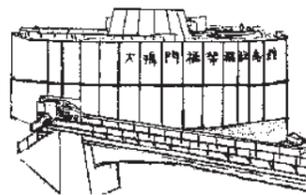
●多視点デッサンに挑戦 —視線を変える—

わからない絵の代名詞のようにいわれることも多いピカソの描き方を体験。ものを様々な方向から眺めて、一枚の絵の中に構成していく方法です。講師は平木美鶴さん（徳島大学教授）です。会場ではピカソやホックニーの所蔵品と合わせて展示します。

●高コレ —高校生がつくった展示会—

当館コレクションの魅力に高校生が若い目線で光をあてます。学芸員とともに作品について学習し、展示企画を立て、実際に展示をつくります。事業連携校：徳島県立徳島商業高等学校美術部。

展示会の会期は2013年2月9日（土）—3月24日（日）。入館料は一般200円です。3月3日には大久保英治さんによるギャラリートークも予定しています。



〒770-8070 徳島市八万町向寺山 ☎088-668-1088

上板町立歴史民俗資料館

「阿波藍製造の資料について」

当館では、阿波藍製造の資料を常設展示している。

藍は歴史上の染織作品に用いる例が多く、その修復や伝統染織技術に欠くことができないこと、染料薬の良品が阿波藍以外に入手が難しいことから、1978（昭和53）年、その製造技術「阿波藍製造」が、国選定保存技術に定められた。

資料は、（製造工程の）藍粉成しの時に用いるもの（カラサオ・三丁切・大箕）、乾燥させた葉藍を発酵させて薬に仕上げる時に用いるもの（ハネ・クマデ・コマザラエ・フトン）、薬を固形化する時に用いるもの（臼・杵）を中心に展示している。

藍は藍染のイメージが一般的に強く、薬を製造する工程についてはあまり知られていない。これをどのようにして周知させていけば良いのか、その方法を探し続けている。 文責 樫山昌史

【写真資料】

左から ハネ・クマデ・コマザラエ



〒771-1310 板野郡上板町泉谷字原中筋8-1

☎088-694-5688 FAX088-694-6802

情報コーナー

妖怪屋敷・石の博物館

「なぜ、山城町は妖怪伝説があるのか。」

山城町は平地がほとんど無い急峻な村で国内有数の地滑り地帯。自然の厳しさと危険さ夜の暗さは時代が変わっても変わらず、暗がりや危険な崖、淵、災害や事故、不思議な体験は無くなりませんでした。

親たちは、いろいろばたで怖い妖怪話をしながら、人が命を落とした危険な場所に近づいたり、水資源や母樹林を荒らしたり、暗くなるまで外で遊んでいると、どんな報いや恐ろしいことが起きるかを妖怪と結びつけて子供たちに教えてきました。

山城町の妖怪話は厳しい自然と共生していくための知恵がいっぱい詰まった生活必需品であり命を守る親心から生まれた宝物と言えます。

怖いけれど、どこかなつかしさと暖かさを感じる山城町の妖怪と妖怪屋敷とセットで見られる石の博物館をぜひ見に来て下さい。



〒779-5452 三好市山城町上名1553-1

☎0883-84-1489 FAX0883-84-1222

徳島県立佐那河内いきものふれあいの里

「12月～3月の行事」

- 12月2日（日） 13:00～15:00 定員20名
動物用の巣箱を作ろう
- 12月4日（火） 10:00～15:00 定員20名
森を歩いて「植物の冬越し」を見てみよう
- 2月3日（日） 9:00～15:00
出島探鳥会（日本野鳥の会共催）
- 2月24日（日） 10:00～14:00 定員20名
歴史探訪：里山を歩いてみよう
- 3月17日（日） 10:00～15:00 定員25名
ネイチャートレイル：「早春の森歩き」
- 3月24日（日） 13:00～15:00
動物観察会：「草原を歩いてシカの角探し」

「行事案内のWebカレンダー化」

徳島県立佐那河内いきものふれあいの里では、年間行事をホームページやパンフレットとしてご案内しています。しかし、他の機関との共催行事や天気都合で延期になったイベントなど、新しく追加されたイベントにはなかなか対応できないのが現状、皆さんにご不便をお掛けしています。

そこで、当施設では今年から試行的に「行事案内のWebカレンダー化」を進めています。といっても難しいことではなく、当施設の公式「Googleカレンダー」をただ公開しているだけ、このカレンダーには集合場所の地図情報や詳細な行事案内などがありますし、Googleアカウントをお持ちの方は自分のカレンダーに取り込むこともできてとっても便利！つまり、ここを見ればすべてがわかる状態になっています。是非、一度御覧ください。



利用者から「今後、他の館の行事案内なども一緒に表示できればいいな」との意見をもらいましたので、この形式で一緒にカレンダー化をやってみませんか？また、NPOや任意団体の方でイベント情報を告知したい場合はこのカレンダーで連動させることができますので、是非ご一報を！



〒771-4102 名東郡佐那河内村上字大川原5-8

☎088-679-2238 FAX088-679-2050